

関西初上映！



アメリカの空爆から6年
アフガニスタン・カブールの今

「壁の中の少女たち」上映会 そして 川崎けい子さん講演会

アフガニスタンにアメリカが空爆して6年が過ぎました。タリバンによる自爆攻撃のニュースなど、アフガニスタンのその後の混沌とした状況は報道等により伝えられてはいます。また、そんな中、日本政府はテロ特措法やそれに変わる新法により、自衛隊の派兵をあきらめていません。野党党首による ISAF（国際治安支援部隊）への自衛隊の参加までも提言されています。今回はそのような混沌とした状況の中で、アフガニスタンの首都カブールの孤児院で生きる少女たちを描いたドキュメンタリー映画「壁の中の少女たち」の上映と監督の川崎けい子さんの講演会を企画しました。これを機会にわたしたちとアフガニスタンの関係や、戦争、紛争、人権、女性問題などさまざまなことをもう一度考えなおす機会にさせていただければと思います。関西初上映で今のところ関西では他での上映は予定されておりません。新春企画のこの上映会にぜひともご参加ください。

日時：2008年1月6日（日） 午後2時開始（1時30分開場）～4時30分

場所：ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）・
5階 視聴覚スタジオ

京阪天満橋駅・地下鉄谷町線天満橋駅1番出口から
東へ350m、またはJR東西線大阪城北詰駅2号出
入口から西へ550m

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

TEL 06-6910-8500

参加費：当日1200円（前売り予約1000円）



主催：「壁の中の少女たち」上映実行委員会

共催：RAWAと連帯する会・関西（<http://rawa-japan.3005.net/>）

（前売り予約は下記のEメールかFAXでお申し込みください。当日1000円で参加できます。）

E-mail: rawa-jp@hotmail.co.jp

TEL/FAX: 072-987-3832 (桐生)

少女たちを危険から守っているのは壁だった。 しかし、一方で

壁は、少女たちを閉じこめる檻でもあった・・・

2006年の秋、首都カブールにある孤児院に滞在しながら、そこに暮らす三十数人の少女たちを取材しました。取材を続けるうちに、大きな存在となって浮かび上がってきたものがあります。孤児院を取り囲む高い塙、"壁"でした。むろんそれは、子どもたちを自爆テロなどの危険から守るためのものです。しかし、"壁"は、守るだけではないようでした。

「壁の中の少女たち」は、孤児院の少女たちの暮らしを追いながら、彼女たちの苦悩と喜び、希望を見つめ、人にとって"壁"とは何か、を問うドキュメンタリーです。

(2007年作品) (監督の川崎けい子さんより)

あらすじ

2006年秋、アフガニスタンの首都カブールに孤児院があった。そこでは7才から19才までの子どもたち30数人が暮らしていた。そのほとんどは少女たちだ。彼女たちは、内戦やアメリカ軍の攻撃、地雷、貧困ゆえの病気などさまざまなことから両親や父親を亡くしていた。

孤児院は、高くて固い壁に囲まれ、ひとつしかないドアにはいつも鍵がかかっている。子どもたちは、公立学校に通うとき以外、めったに壁の外に出ない。壁の外は危険に満ちているからだ。カブールでは、自爆テロや誘拐が頻発していた。いつどこで起こるかかわからないテロや誘拐から身を守るために、子どもも大人も外出を避けるようになったのだ。

子どもたちは、部屋の中で勉強し、体操し、歌い、踊り、遊ぶ。外の危険から守ってくれる壁があるからこそその平穏な日常生活。しかし、壁には、もうひとつの側面があった。

それは、人を閉じこめる"檻"の側面だった。



川崎けい子さん・・・

1960年茨城県生まれ。保健、福祉、環境、国際問題、歴史などの分野を中心に、PRビデオ、教養・教育ビデオの脚本・演出を担当する。また、1999年からアフガン難民やアフガニスタン国内で暮らす人びとを取材し、写真ルポを雑誌等で発表。全国各地で写真展およびアフガニスタン問題や女性問題についての講演を行う。

写真絵本「この子たちのアフガン」(オーロラ自由アトリ)。

共著に「内発的発展と教育」(江原裕美編 新評論)

長編ドキュメンタリー映画「ヤカオランの春～あるアフガン家族の肖像」(83分)

短編ドキュメンタリー「RAWA アフガン女性の間に光を」(25分)

◆ 企画・制作・取材：川崎けい子 音楽：三浦誠司/吉田 哲/児島由美 ナレーション：高塚 玄 ◆

ダリ語翻訳：駿溪ベヘザード 撮影協力：オマル/マリヤム 制作協力：加藤遼太郎

映像・写真提供：RAWA 音楽録音：蟠龍寺スタジオ 録音スタジオ：(株)ナオ

制作：オフィススリーウェイ

2007年/ドキュメンタリー/スタンダード/カラー/ダリ語、英語、日本語/上映時間59分

スタッフ募集!

今回の上映会ではスタッフがほとんどいませので大募集いたします。ぜひとも一緒に上映会成功に向けてやってくださる方はご連絡ください。また、実行委員会を12月15日(土)午後4時にドーンセンター4階小会議室で行いますので、ご参加ください。

カンパも大歓迎です。郵便局口座名「RAWAと連帯する会」番号00930-1-76874

(RAWAとはアフガニスタンの女性人権団体です。)